

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東
 コード番号 3040 URL https://www.soliton.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 TEL 03-5360-3801
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年8月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	7,536	3.8	131	△52.7	109	△39.5	14	—
2018年12月期第2四半期	7,262	△13.8	278	△60.8	180	△75.7	△11	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 70百万円(22.7%) 2018年12月期第2四半期 57百万円(△84.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	0.76	—
2018年12月期第2四半期	△0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	14,168	5,989	42.1
2018年12月期	13,106	6,013	45.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 5,971百万円 2018年12月期 5,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年12月期	—	5.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(平成2019年1月1日~平成2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	1.5	1,500	9.7	1,430	15.3	900	172.9	47.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	19,738,888株	2018年12月期	19,738,888株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	779,628株	2018年12月期	779,628株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	18,959,260株	2018年12月期2Q	19,462,120株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

今、世界は前途洋々ならず、暗雲と光が交じる空模様なれど、人々は戸惑いながらも、多くを語りません。重く静かです。

当社の属するIT業界は、ITを活用し事業変革を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）が叫ばれ、企業の情報化投資が底堅く推移しております。当社の主たるビジネスであるセキュリティ分野では、Cashless決済の試みも多くなり、本人確認、認証という当社の技術の蓄積が一段と活用される場が増えていきます。サイバー対策の活動においては、国の機関と民間が一緒になり技術と情報を共有し、強力な体制の構築に参画しながら、日々前進中です。

このような環境下、売上高は7,536百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は131百万円（前年同期比52.7%減）、経常利益は109百万円（前年同期比39.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① ITセキュリティ事業

売上高は7,213百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は806百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

自社製品/サービスを中心に販売しましたが、スポットの他社製品販売の影響で粗利率が低下し、増収ながら減益となりました。当第2四半期は、悪性ドメインへのアクセスをブロックするクラウドサービス「Soliton DNS Guard」や企業のセキュリティリスクを把握するための総合診断クラウドサービス「security-risk.jp」等の提供を開始しました。企業のITインフラについて、既存ネットワークとクラウドコンピューティングが混在し、さらに「働き方改革」の推進により多様な端末で外部からのアクセスも加わり、高度化と複雑化が加速しております。下期以降、高度化/複雑化したITインフラでもセキュリティと効率性を両立する新たな統合認証サービスをリリースしてまいります。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は254百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント損失は141百万円（前年同期はセグメント損失138百万円）となりました。

「Smart-telecaster ZA0-S」の販売活動を推進しました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの警備に向けた公共案件を落札（下期に売上計上予定）したことにより、国体や各地の催しの警備に各県警からレンタル案件が増加しております。海外でもパブリックセーフティ分野での販売活動を進めております。次機種の開発も進めています。

③ エコ・デバイス事業

売上高は67百万円（前年同期比11.5%減）、セグメント損失は128百万円（前年同期はセグメント損失101百万円）となりました。

低遅延映像伝送システムと組み合わせる隊列走行/遠隔運転向けのカメラの開発を進めております。新製品の試作品の開発も行いました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,062百万円増加し、14,168百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,128百万円増加し、11,622百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,864百万円、仕掛品が41百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が561百万円、その他流動資産が138百万円、前払費用が73百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて65百万円減少し、2,546百万円となりました。これは主に差入保証金が41百万円、のれんが34百万円増加した一方、繰延税金資産が79百万円、ソフトウェアが47百万円、その他固定資産が39百万円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,012百万円増加し、7,625百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が391百万円、前受収益が320百万円、短期借入金が200百万円、その他流動負債が67百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて75百万円増加し、554百万円となりました。これは主に長期借入金85百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、5,989百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が53百万円増加した一方、利益剰余金が80百万円減少したことによるものであります。

なお自己資本比率は42.1%（前連結会計年度末比3.6ポイント減少）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,864百万円増加し、7,116百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動から獲得した資金は1,958百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益105百万円、売上債権の減少620百万円、仕入債務の増加381百万円、前受収益の増加324百万円等であります。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加72百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は192百万円となりました。

支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出90百万円、有形固定資産の取得による支出46百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出31百万円、差入保証金の差入による支出26百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動から獲得した資金は102百万円となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入300百万円、短期借入れによる収入100百万円であります。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出201百万円、配当金の支払額94百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2019年2月14日に公表いたしました数値より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,252	7,116
受取手形及び売掛金	2,835	2,274
電子記録債権	268	273
リース投資資産	74	54
商品及び製品	769	794
仕掛品	22	63
原材料及び貯蔵品	120	102
前払費用	989	916
その他	212	74
貸倒引当金	△51	△48
流動資産合計	10,493	11,622
固定資産		
有形固定資産	920	915
無形固定資産		
のれん	-	34
ソフトウェア	246	199
ソフトウェア仮勘定	349	349
その他	14	14
無形固定資産合計	610	597
投資その他の資産		
投資有価証券	62	72
差入保証金	512	554
繰延税金資産	410	331
その他	119	80
貸倒引当金	△23	△4
投資その他の資産合計	1,081	1,033
固定資産合計	2,612	2,546
資産合計	13,106	14,168

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	947	1,339
短期借入金	180	380
リース債務	29	22
未払金	384	407
未払法人税等	43	38
前受収益	4,022	4,343
賞与引当金	376	398
その他	627	694
流動負債合計	6,613	7,625
固定負債		
長期借入金	90	175
リース債務	46	32
退職給付に係る負債	342	347
固定負債合計	479	554
負債合計	7,092	8,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,401	1,401
利益剰余金	3,657	3,577
自己株式	△514	△514
株主資本合計	5,870	5,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	10
為替換算調整勘定	134	187
退職給付に係る調整累計額	△19	△16
その他の包括利益累計額合計	125	181
非支配株主持分	18	17
純資産合計	6,013	5,989
負債純資産合計	13,106	14,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,262	7,536
売上原価	4,240	4,562
売上総利益	3,021	2,973
販売費及び一般管理費	2,743	2,841
営業利益	278	131
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	0
受取補償金	-	4
助成金収入	2	2
貸倒引当金戻入額	-	18
その他	0	0
営業外収益合計	5	27
営業外費用		
支払利息	4	1
為替差損	73	43
持分法による投資損失	15	3
固定資産除却損	7	1
その他	0	0
営業外費用合計	102	49
経常利益	180	109
特別利益		
投資有価証券売却益	229	-
特別利益合計	229	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	3
事業譲渡損	28	-
ソフトウェア除却損	199	-
特別損失合計	227	3
税金等調整前四半期純利益	182	105
法人税、住民税及び事業税	18	12
法人税等調整額	176	78
法人税等合計	194	91
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11	14
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	14

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11	14
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	67	52
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	69	55
四半期包括利益	57	70
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57	70
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	182	105
減価償却費	159	227
ソフトウェア除却損	199	-
のれん償却額	43	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	△21
賞与引当金の増減額(△は減少)	△115	21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	9
受取利息及び受取配当金	△2	△0
支払利息	4	1
為替差損益(△は益)	73	49
持分法による投資損益(△は益)	15	3
投資有価証券評価損益(△は益)	-	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△229	-
事業譲渡損益(△は益)	28	-
売上債権の増減額(△は増加)	625	620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71	△72
前払費用の増減額(△は増加)	△30	75
前渡金の増減額(△は増加)	△25	106
仕入債務の増減額(△は減少)	△210	381
未払金の増減額(△は減少)	△174	7
前受収益の増減額(△は減少)	393	324
破産更生債権等の増減額(△は増加)	52	18
その他	103	117
小計	993	1,981
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△3	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△372	△22
営業活動によるキャッシュ・フロー	620	1,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33	△46
無形固定資産の取得による支出	△292	△90
投資有価証券の取得による支出	-	△16
差入保証金の差入による支出	△86	△26
投資有価証券の売却による収入	230	-
事業譲渡による収入	146	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△31
その他	1	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	100
長期借入金の返済による支出	△90	△201
長期借入れによる収入	-	300
配当金の支払額	△116	△94
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208	102
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	373	1,864
現金及び現金同等物の期首残高	5,850	5,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,223	7,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ	映像コミュニケーション	エコ・デバイス	
売上高				
外部顧客への売上高	6,923	262	76	7,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	11	9	34
計	6,935	274	86	7,296
セグメント利益又は損失 (△)	857	△138	△101	617

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	617
全社費用(注)	△339
四半期連結損益計算書の営業利益	278

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社のEディスカバリー総合支援サービスとドキュメント・レビューサービスを2018年5月31日付で譲渡
したことにより、「ITセキュリティ」セグメントにおけるのれんの金額が157百万円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ	映像コミュニケーション	エコ・デバイス	
売上高				
外部顧客への売上高	7,213	254	67	7,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	4	-	6
計	7,215	259	67	7,542
セグメント利益又は損失 (△)	806	△141	△128	536

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	536
全社費用(注)	△405
四半期連結損益計算書の営業利益	131

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ITセキュリティ」セグメントにおいて、株式会社Sound-FinTechの子会社化により、当第2四半期連結累計期間において、36百万円のものれんを計上しております。